

千葉市感染症発生動向調査情報

2020年 第23週 (6/1-6/7) の発生は？

1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数	23週	22週	21週	20週
小児科	18	18	18	18
眼科	5	5	5	5
インフルエンザ*	28	28	28	28
基幹定点	1	1	1	1

上段:患者数

下段:定点当たりの患者数

「定点当たりの患者数」とは
報告患者数/報告定点数。

定点	感染症名	千葉市					千葉県
		注意報	6/1-6/7	5/25-5/31	5/18-5/24	5/11-5/17	5/25-5/31
			23週	22週	21週	20週	22週
小児科	RSウイルス感染症		0	0	0	0	0
	咽頭結膜熱		0	0	0	0	1
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		5	6	4	10	59
	感染性胃腸炎		19	18	20	20	115
	水痘		2	1	2	1	9
	手足口病		4	0	2	2	6
	伝染性紅斑		0	0	0	0	2
	突発性発しん		14	16	8	13	57
	ヘルパンギーナ		0	0	0	0	1
	流行性耳下腺炎		2	0	0	0	6
インフル	インフルエンザ*(高病原性鳥インフルエンザを除く)		0	0	0	0	0
眼科	急性出血性結膜炎		0	1	0	0	1
	流行性角結膜炎		0	0	1	0	3
基幹定点	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0	0	0	0	1
	無菌性髄膜炎		0	0	0	0	0
	マイコプラズマ肺炎		0	0	0	0	0
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		0	0	0	0	0
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		0	0	0	0	0

★★:流行中 ★:やや流行中 ◎:増加 ○:やや増加 →:変化なし ↓:やや減少 ↓↓:減少

2 全数報告対象疾患(3件)

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
結核	女性	60歳代	IGRA検査	新型コロナウイルス感染症	女性	50歳代	病原体遺伝子の検出
E型肝炎	男性	60歳代	血清IgA抗体の検出	-	-	-	-

*第23週は、結核1件(61)、E型肝炎1件(3)、新型コロナウイルス感染症1件(110)の発生届があった。

※ ()内は2020年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

定点当たり報告数 第23週のコメント

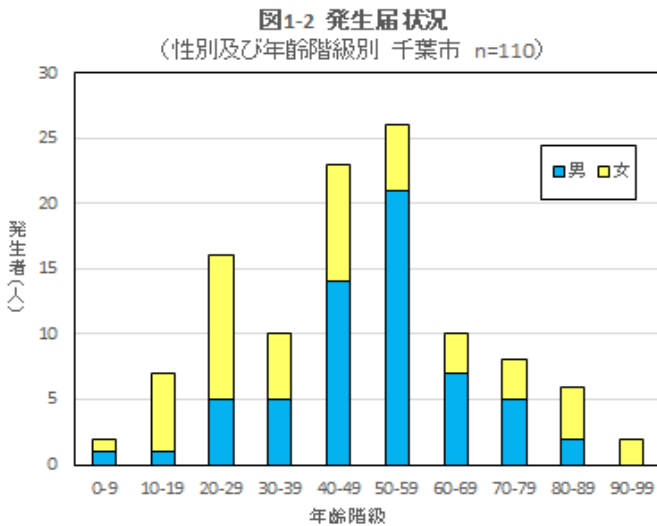
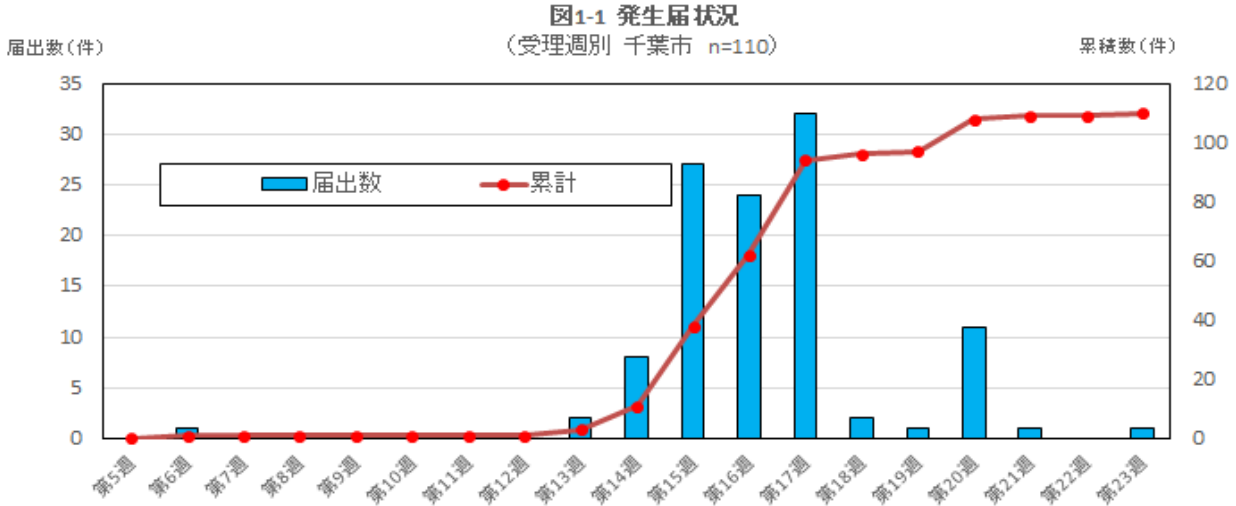
過去10年の同時期と比べて全て平均未満となっている。

<トピック>

<新型コロナウイルス感染症>

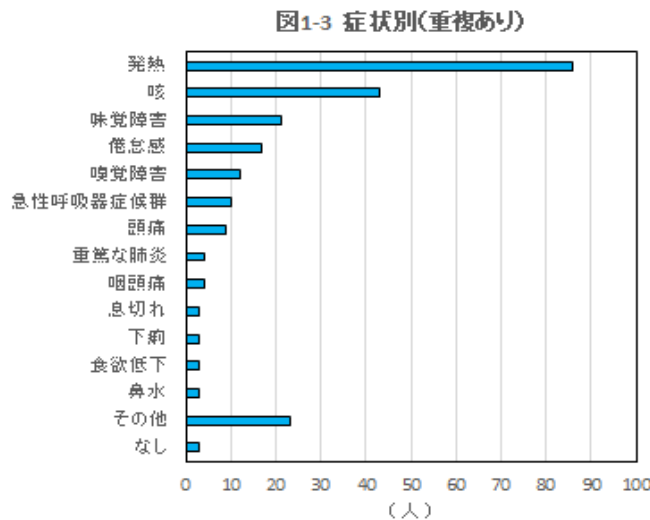
・発生届

第23週は1件の発生届があり、合計は110件となっています(図1-1)。
 性別では男性が61名(55.5%)、女性が49名(44.5%)で、年齢層は0歳から90歳代まで、年齢中央値は全体で50.2歳で、男性で51.1歳、女性で49.1歳となっています。年齢階級別では50歳代(26名:23.6%)、40歳代(23名:20.9%)、20歳代(16名:14.5%)の順に多くなっています。年齢階級の男女比は、男性は40歳代~70歳代で占める割合が高いことに対して、女性は10歳代、20歳代及び80歳代以上で占める割合が高くなっています(図1-2及び表1)。
 症状は、発熱(86名:78.2%)、咳(43名:39.1%)、味覚障害(21名:19.1%)の順で多くなっています(図1-3)。



中央値	51.1	49.1	50.2	
年齢層	男	女	計	
0-9	1	1	2	1.8%
10-19	1	6	7	6.4%
20-29	5	11	16	14.5%
30-39	5	5	10	9.1%
40-49	14	9	23	20.9%
50-59	21	5	26	23.6%
60-69	7	3	10	9.1%
70-79	5	3	8	7.3%
80-89	2	4	6	5.5%
90-99	0	2	2	1.8%
100-	0	0	0	0.0%
計	61	49	110	100.0%
	55.5%	44.5%	100.0%	

表1 性別及び年齢階級別



・ウイルス検査

千葉市環境保健研究所では、2020年第23週(2020年6月7日時点)までに3791例(検体数3980)について新型コロナウイルス感染症の検査を実施しました。搬入された市中感染・輸入例疑い事例は3533例(うち陰性化確認等247例)となっており、この他クルーズ船関連事例191例(うち陰性化確認126例)、その他陰性化確認等67例の検査を実施しました。

陰性化確認等247例を除いた市中感染・輸入例疑い事例3286例(検体数3424)については、陽性は110例(陽性率:3.3%)でした(図2-1)。陽性率について、年齢階級別では50歳代(5.7%)、10歳代(5.6%)、40歳代(4.4%)の順で多くなっています(図2-2及び表2)。

図2-1 新型コロナウイルス感染症市中疑い事例PCR検査状況

(週別 千葉市:6月7日現在 n=3286)
(クルーズ船乗客等関係者及び陰性化確認検査を除く)

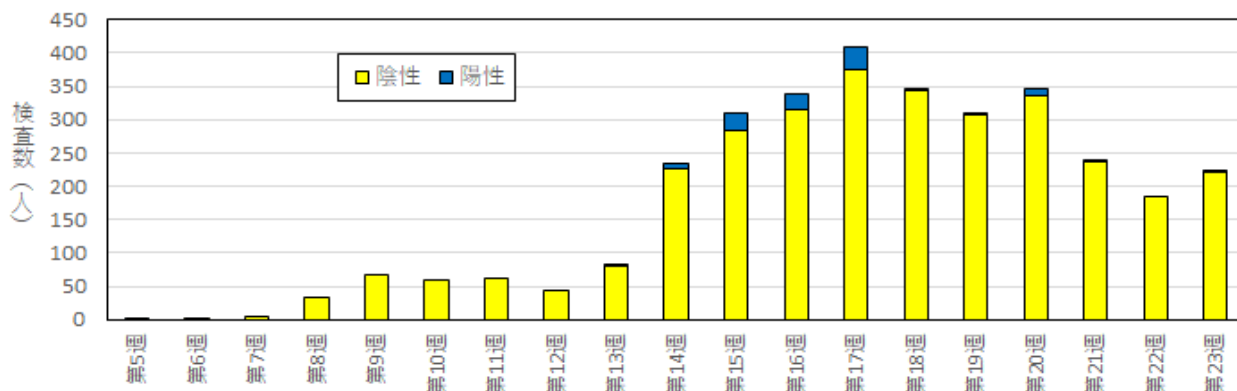
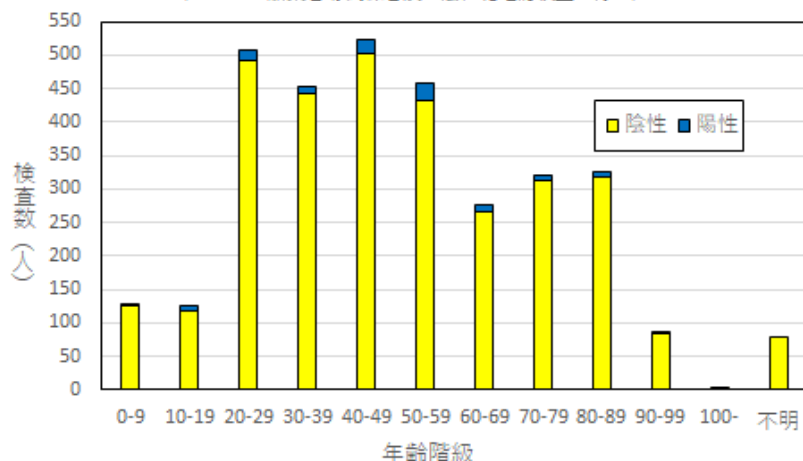


図2-2 新型コロナウイルス感染症市中感染疑い事例PCR検査状況

(年齢階級別 千葉市:6月7日現在 n=3286)
(クルーズ船乗客等関係者及び陰性化確認検査を除く)



年齢階級	陽性	陰性	計	陽性率
0-9	2	125	127	1.6%
10-19	7	118	125	5.6%
20-29	16	491	507	3.2%
30-39	10	442	452	2.2%
40-49	23	501	524	4.4%
50-59	26	432	458	5.7%
60-69	10	267	277	3.6%
70-79	8	313	321	2.5%
80-89	6	319	325	1.8%
90-99	2	85	87	2.3%
100-	0	4	4	0.0%
不明	0	79	79	0.0%
計	110	3176	3286	3.3%

表2 年齢階級別の検査状況